



【2017-12-06】

遊道楽歩（雑感）

書を友に、酒を楽しみ、
人生を味わう

今週の雑感

『三島駅周辺の散策』

長野修二

三島駅周辺の散策

伊豆にいった帰りに三島に立ち寄りしました。

仕事で三島を訪れたことはありましたが、改めて東海道沿線の町だけあってそれなりの規模があります。

しかし、人口数からみると10万人ほどの町ですが、駅前の賑やかさは私が住む佐倉市（人口約17万人）とは大きく違ってきます。

町並みも佐倉よりも大きくてきれいですし、なんといっても町中を清流が走る自然豊かなところが特徴でしょうか。

東海道新幹線で東京まで1時間弱という近さや伊豆、箱根などの観光地を周辺にもっており、居住人口以外に多くの人達が訪れるのだと思います。

メインストリートを歩いてみるとこの地の発展がよくわかります。

おしゃれなお店も多く、外国人や若い人たちが訪れているようです。

私たち夫婦は短い時間しかありませんでしたが、それでも駅前にある楽寿園（らくじゅえん）から歩き始めましたが、大小の池が配置された公園です。



しかし、現在では、そのいくつかは水が枯れてしまっており、溶岩がむき出しになった光景をみることになります。

この地がたしかに富士山の噴火でできていることを知るようになります。

す。

かつては豊富な湧水で満水だったようですが、近年は工業用水のくみ上げなどにより、数年に一回満水になることもあるようです。



湧水をみながら歩くなら、楽寿園の南口がでるとすぐに蓮沼川にでます。

この川は「楽寿園」の池とは違ってきれいな水が豊富にあります。

現在、この水が湧水かどうかはわかりません。

カルガモ達が楽しそうに泳いでいますが、人間に慣れているようでゆったりとくつろいでいます。



蓮沼川を三島駅と反対方向に歩いていきながら、途中で左折すれば、すぐに源平衛川にたどり着きます。





源平衛川を楽寿園方面（三島駅）に歩いてゆくと清流豊かな情景に出会えます。

こちらはとうとうと流れていますので、富士山の伏流水なのかもわかりません。

とにかくきれいな水で、しかも勢いよく流れていますから、心地よい気持ちになります。



源平衛川を歩いて道を戻ると楽寿園の南口近くにでますので、ここから右折して浅間神社方面へ歩けば、白滝公園がみえてきます。こちらの公園の池も訪ねたときは水が枯れており、白滝を見ることはできませんでしたが、近くを流れる桜川沿いを歩いてみれば、ゆっくりと流れるきれいな水に心が癒されるでしょうか。



時間があれば、もう少しゆっくりと歩きたいところでしたが、1時間弱の短い散歩でしたが、三島駅周辺にこれだけの自然が残っているの、実に羨ましい環境です。

しかし、この地も富士山の噴火によって大地ができたことは忘れてはならないでしょう。

同時に、富士山の恩恵として湧き出る豊かな水の恵によってきれいな川があるのだと、改めて自然のドラマに思いをはせた散歩でした。